

ミニディスクロージャー誌

平成26年3月期・営業の中間ご報告

INTERIM MINI DISCLOSURE 2013

HOKURIKU HOKKAIDO Tokyo・Nagoya・Osaka



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

Hokuhoku Financial Group, Inc.

地域とあなたのために、もっと。



女子カーリング日本代表の「北海道銀行フォルティウス」



↑「道銀の森」第5回
植樹を実施



←今年で27回目を迎えた
「道銀ライラックコンサート」

美術館「ギャラリー・ミレー」で
クラシックコンサート開催 →



ロンドンでの北陸物産展で
↓ 出展企業をサポート



登録有形文化財に登録される運びとなった北陸銀行本店

地域とお客さまとともに発展を目指します。



取締役会長 堰八 義博
(北海道銀行 頭取)

取締役社長 庵 栄伸
(北陸銀行 頭取)

皆さまには、日頃より当社およびグループ会社に格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。ここに、ほくほくフィナンシャルグループの「ミニディスクロージャー誌(平成26年3月期・営業の中間ご報告)」をお届けいたします。本誌では、平成25年度中間期の業績をご紹介します。ぜひ一読いただき、当社に対するご理解の一助としていただければ幸いです。

当社では、平成25年4月より新中期経営計画“GO for IT!”をスタートさせ、「地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ」を目指して、地域における金融サービスの向上に取り組んでおります。傘下の北陸銀行、北海道銀行では、お客さまのニーズにお応えするため、店舗ネットワークや海外拠点を拡充し、利便性の高いサービスの提供に努めております。また、北陸新幹線や北海道新幹線の開業を控え、その効果を地域経済がしっかりと享受できるように、ビジネスマッチングや各種情報提供をより一層充実させてまいります。

地域金融機関として地域経済の活性化に全力で取り組み、地域とお客さまとともに発展していくことを目指してまいりますので、今後とも、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成25年12月

03
|
06

業績ハイライト

07

グループの概要

08

地域とのかかわり

(北陸銀行) 09

(北海道銀行) 13

地域とともに

(グループ単体/連結) 17

(北陸銀行 単体) 19

(北海道銀行 単体) 20

財務諸表

21

株式のご案内

22

経営理念等

営業の概況

■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位:億円)

	25年9月期		24年9月期
		前中間期比	
経常収益	952	△ 104	1,057
経常利益	235	146	89
中間純利益	123	61	61
自己資本比率	12.04%	0.14%	11.90%

■ 北陸銀行・北海道銀行 <2行合算>

(単位:億円)

	2行合算		
	25年9月期	前中間期比	24年9月期
経常収益	888	△ 96	985
コア業務粗利益	715	△ 19	735
経費(臨時処理分を除く)	478	△ 6	485
コア業務純益	237	△ 12	250
与信費用	0	△ 104	104
有価証券等関係損益	10	45	△35
経常利益	233	139	94
中間純利益	126	56	70

(単位:億円)

	北陸銀行		
	25年9月期	前中間期比	24年9月期
経常収益	485	△ 76	562
コア業務粗利益	389	△ 34	424
経費(臨時処理分を除く)	258	△ 0	259
コア業務純益	130	△ 33	164
与信費用	△ 9	△ 104	95
有価証券等関係損益	6	43	△36
経常利益	139	115	23
中間純利益	72	53	19
自己資本比率	11.95%	0.06%	11.89%

(単位:億円)

	北海道銀行		
	25年9月期	前中間期比	24年9月期
経常収益	402	△ 20	423
コア業務粗利益	326	15	310
経費(臨時処理分を除く)	219	△ 5	225
コア業務純益	106	21	85
与信費用	9	0	8
有価証券等関係損益	3	2	1
経常利益	94	23	71
中間純利益	54	3	50
自己資本比率	11.08%	0.03%	11.05%

当社における25年9月期の業績につきましては、連結経常収益は前中間期比104億円減少の952億円、連結経常利益は前中間期比146億円増加の235億円、連結中間純利益は前中間期比61億円増加の123億円となりました。

連結自己資本比率は12.04%となりました。

普通株式配当につきましては、自己資本の状況を踏まえ、中間配当を見送りとさせていただきます。期末一括配当1株当たり3円75銭を予定しております。なお、優先株式は所定の中間配当とさせていただきます。

コア業務粗利益は、貸出金利の減少等により前中間期比19億円減少の715億円、コア業務純益は前中間期比12億円減少の237億円となりました。

経常利益は、与信費用が前中間期比104億円減少したことと有価証券等関係損益が前中間期比45億円改善したことにより前中間期比139億円増加し、233億円となりました。

固定資産の減損処理による特別損失の計上があったものの、中間純利益は前中間期比56億円増加の126億円となりました。

損益の状況

■ コア業務粗利益 <2行合算>



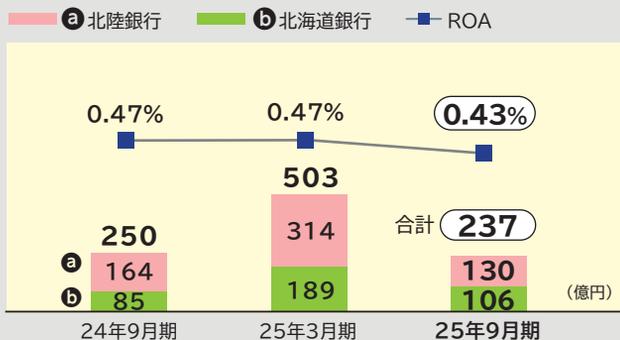
資金利益は、利回り低下による貸出金利息の減少により前中間期比11億円減少の614億円となりました。

役員取引等利益は、保険販売手数料の減少により前中間期比3億円減少の87億円となりました。

その他の利益は、金融派生商品収益の減少により前中間期比4億円減少の13億円となりました。

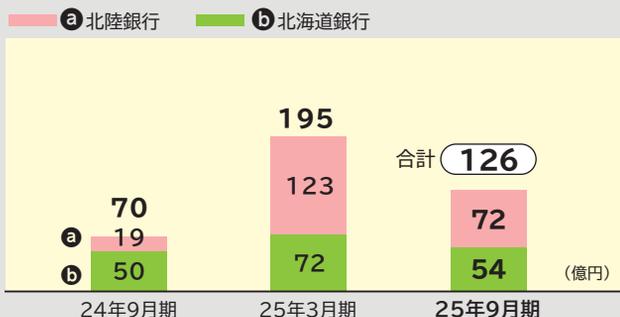
これらの結果、コア業務粗利益は前中間期比19億円減少の715億円となりました。

■ コア業務純益 <2行合算>



コア業務純益は、経費が前中間期比6億円減少したものの、コア業務粗利益が前中間期比19億円減少したため、前中間期比12億円減少の237億円となりました。

■ (当期・中間) 純利益 <2行合算>



中間純利益は、与信費用が減少したことと株式等損益が改善したことにより前中間期比56億円増加の126億円となりました。

預金・貸出金の状況

■ 預金（含む譲渡性預金）＜2行合算＞

■ a 北陸銀行 ■ b 北海道銀行



預金は個人、法人のお客さまともに増加したことにより、25年3月末比812億円増加の10兆894億円となりました。

■ 貸出金＜2行合算＞

■ a 北陸銀行 ■ b 北海道銀行



貸出金は、住宅系ローンや地方公共団体向け貸出が増加しましたが、事業性貸出が減少したため、25年3月末比324億円減少の7兆3,696億円となりました。

■ 中小企業等貸出残高＜2行合算＞

■ a 北陸銀行 ■ b 北海道銀行



中小企業等貸出は、25年3月末比802億円減少の4兆6,123億円となりました。

円滑な地域金融への取り組みを重要な役割ととらえ、積極的に取り組んでおりますが、景気回復の足取りは重く、事業性資金ニーズの伸び悩みから貸出残高は減少しました。

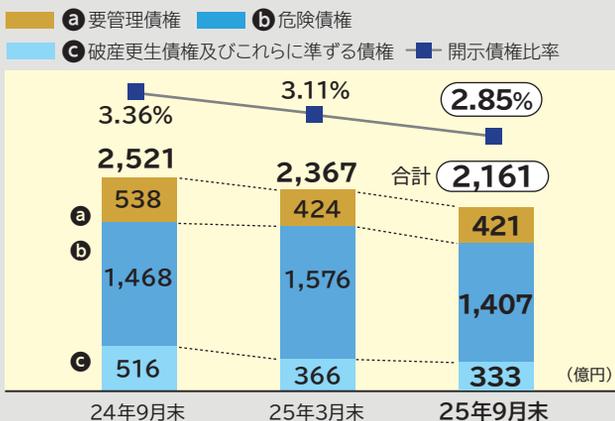
健全性の指標

■ 自己資本比率<FG連結>



財務の健全性を示す自己資本比率は、利益の積み上げとリスクアセットの減少により、25年3月末比0.16ポイント上昇の12.04%となりました。

■ 金融再生法開示債権<2行合算>



金融再生法開示債権は、経営改善支援の取り組みによるランクアップ等により25年3月末比205億円減少の2,161億円となりました。

開示債権比率は同0.26ポイント低下の2.85%となりました。

■ 格付

日本格付研究所

JCR



格付投資情報センター

R&I



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行は、JCRおよびR&Iより「A(シングルAフラット)」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ております。

銀行持株会社



Hokuhoku
Financial
Group, Inc.

名称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ

本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号

- 業務の内容
- 傘下子会社の経営管理
 - 上記経営管理業務に付帯または関連する業務

■ 資本金 708億9,500万円

■ 発行済株式 普通株式 1,351,630,146株
第1回第5種優先株式 107,432,000株

■ 取締役・監査役の役職および氏名

役職名	氏名	役職名	氏名
取締役会長	堰八 義博	取締役	二階堂裕隆
取締役社長	庵 栄伸	取締役	大島 雄次
取締役	麦野 英順	常勤監査役	須河 孝一
取締役	笹原 晶博	監査役	林 則清
取締役	中野 隆	監査役	前泉 洋三
取締役	森田 勉	監査役	川田 達男

■ 従業員の数 専任者13名、兼務者48名、計61名

■ 設立日 平成15年9月26日

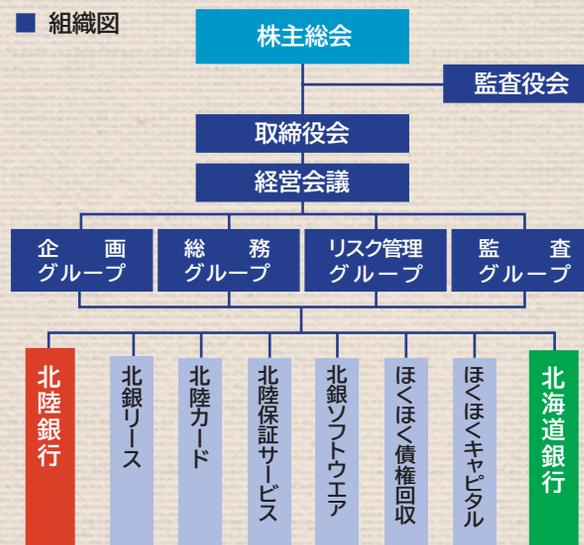
■ 各組織の構成および役割等

取締役会 グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。

監査役会 監査の方針、監査役職務の執行に関する事項を決定し、取締役職務の執行を監査します。

経営会議 当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、一般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

■ 組織図



■ グループ各社の内容

(株)北陸銀行	ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っております。
(株)北海道銀行	
北銀リース(株)	リース業務、代金回収業務などを行っております。
(株)北陸カード	JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っております。
北陸保証サービス(株)	住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っております。
北銀ソフトウェア(株)	コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っております。
ほくほく債権回収(株)	銀行の個人向けローン管理業務受託、地域の企業再生支援およびグループ内の債権回収・整理業務などを行っております。
ほくほくキャピタル(株)	株式公開の立案・アドバイ業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っております。

グループの広域ネットワーク

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献してまいります。

地域からお預かりしたご預金は、地域のお客さまにご融資し、地域経済発展に貢献しております。

海外



- ・上海駐在員事務所
- ・瀋陽駐在員事務所
- ・大連駐在員事務所
- ・シンガポール駐在員事務所
- ・バンコク駐在員事務所
- ・ニューヨーク駐在員事務所
- ・ユジノサハリンスク駐在員事務所
- ・ロンドン駐在員事務所

北陸3県 149カ店

富山県	91カ店
石川県	36カ店
福井県	22カ店

北海道 159カ店

3大都市圏 17カ店

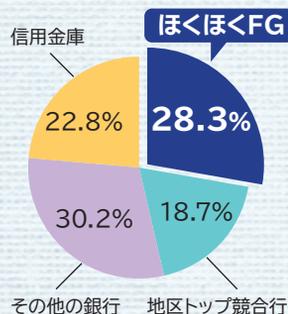
東京・横浜	10カ店
名古屋	3カ店
大阪・京都	4カ店

その他 4カ店

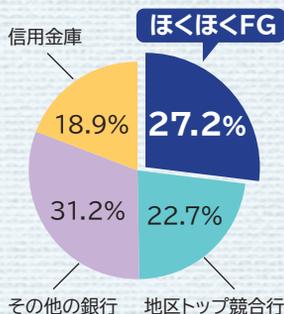
仙台・新潟・長野・高山

北陸3県内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア

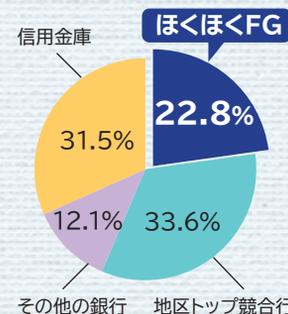


貸出金のシェア

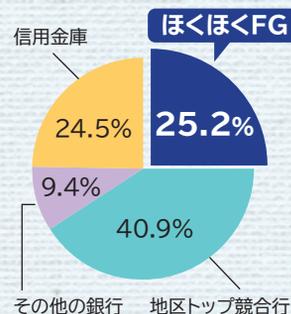


北海道内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア



貸出金のシェア



※シェアは、平成25年3月末現在 日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金 地域・中小企業研究所「信金中金月報」、ニッキン資料より当社にて作成。
 ※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

貸出金の状況

業績ハイライト

グループの概要

地域とのかかわり

地域とともに

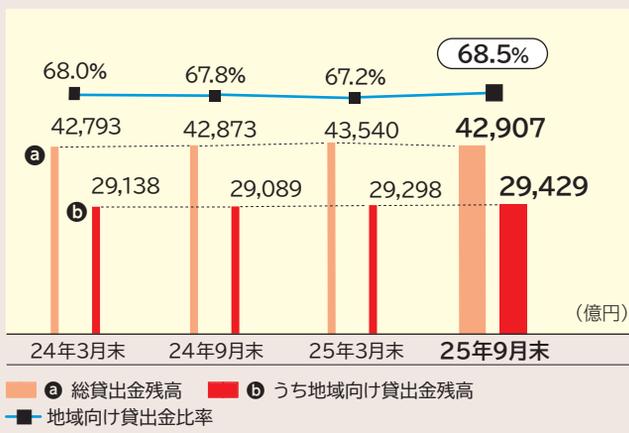
財務諸表

株式のご案内

経営理念等

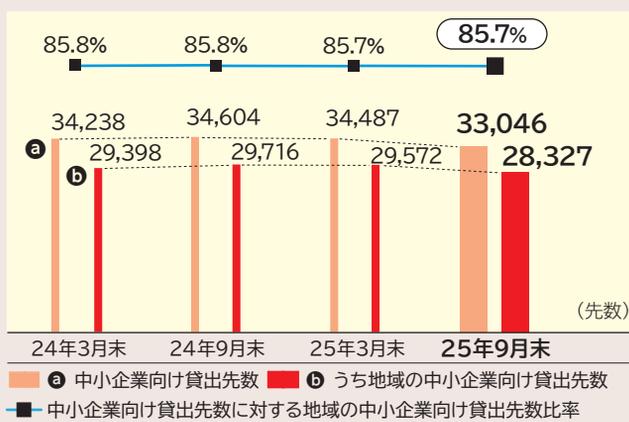
■ 地域向け貸出金の状況

総貸出金のうち、地域向け貸出金は2兆9,429億円となり、うち地域向け貸出金比率は68.5%となっております。



■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は33,046先で、うち地域の中小企業向け貸出先数は28,327先と85.7%を占めております。

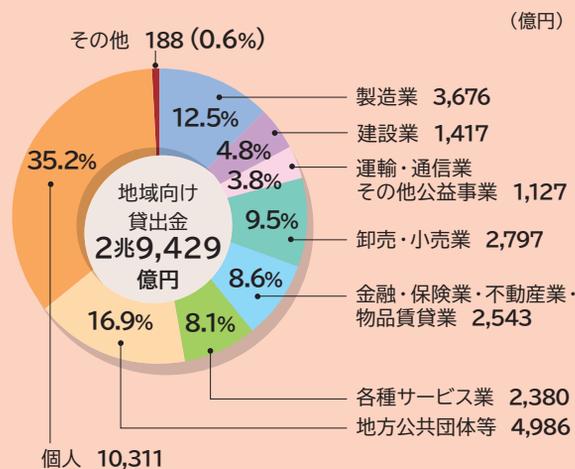


■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は1兆5,966億円で、うち地域の中小企業向け貸出金は1兆1,577億円と72.5%を占めております。



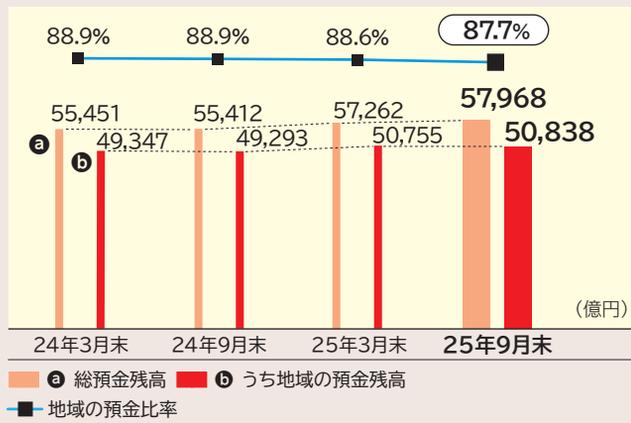
■ 地域の業種別貸出残高 (平成25年9月末)



預金の状況

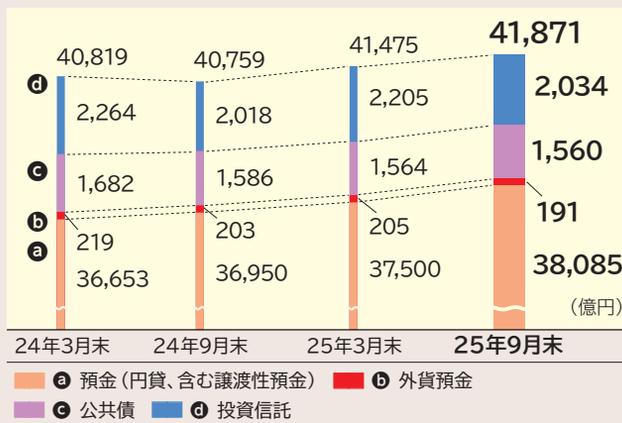
■ 地域の預金(含む譲渡性預金)の状況

総預金は5兆7,968億円、うち5兆838億円が地域の預金で、総預金の87.7%を占めております。



■ 個人預かり資産の状況

25年9月末の個人預かり資産残高は、4兆1,871億円、うち預金(円貨、含む譲渡性預金)を除いた投資型金融商品の残高は、3,786億円となりました。



■ 決済サービスのご利用状況

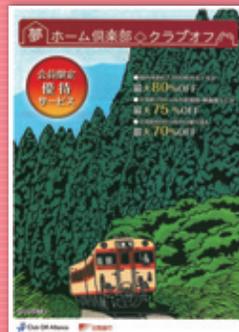
年金振込は29万7千先、給与振込は48万7千先、公共料金の自動口座振替は111万8千先と多くのお客さまに家計のメイン口座としてご利用いただいております。



マイホームの夢実現のお手伝い

北陸銀行では、お客さまのマイホームの夢の実現をお手伝いするために「夢ホームプレミアム」をはじめとして、皆さまのニーズに合わせ、幅広く住宅ローンを取り揃えています。

また、58カ所の「ほくぎんローンプラザ」では、専門スタッフがきめ細かいアドバイスを行い、お客さまに適した住宅ローンをお勧めしています。住宅ローンをご利用のお客さまには、《ほくぎん夢ホーム倶楽部クラブオフ》の各種サービスがご利用いただけます。



お取引先の成長を支援する取り組み

海外進出支援

● 「ロンドン北陸物産展」を開催

6月10日～30日、イギリス ロンドンにある欧州最大の日本食取扱店「ジャパンセンター」にて物産展を開催し、欧州への販路拡大を目指す北陸3県の食品関連企業6社が出演されました。

この物産展では、お取引先に代わりジャパンセンターの販売員が実演販売を行い、北陸銀行ロンドン駐在員事務所がお手伝いさせていただきました。



実演販売の様子



ありがとうございました。

● 海外進出に関するセミナーを開催

中国、ASEANに進出しているお取引先や進出を考えているお取引先に対して、国内および海外でセミナーを開催し、現地のビジネスに関連した情報を提供しています。また、セミナー後には、企業交流会を開催し、企業同士や提携機関との情報交換の場を提供しています。



「中小企業のASEAN戦略セミナー」の様子

開催回数：6回
(北陸銀行主催)

参加者数 ……延べ
381名

人財育成

● 「業界の達人養成講座」等を実施

お取引先の業界特性を深く理解し、よりニーズに合致した提案が行える人財を育成するために「業界の達人養成講座」を継続して実施しています。25年上期は医療・介護・公的助成金の専門家に講演していただき、335名の行員が知識を深めました。

また、お取引先への確かなアドバイスをするために工場見学などを行い目利き力アップに努めています。



「業界の達人養成講座」の様子

販路拡大

● 第4回「とやま『食』の商談会 in 東京」を開催

9月10日に富山県、公益財団法人富山県新世紀産業機構と共催し、「とやま『食』の商談会 in 東京」を開催しました。富山県に本社を置く食品関連企業がサプライヤーとなり、首都圏の有力バイヤーと個別商談を行いました。



バイヤー …… 19社
サプライヤー …… 25社
商談件数 …… 210件

地域の活性化に関する取り組み

●「小泉八雲スープカレー」等の商品化を支援

産学官連携事業として、「富山大学所蔵のヘルン文庫ゆかりのメニュー」の開発を支援しました。

小泉八雲の蔵書を集めた「ヘルン文庫」の1つである「クレオール料理」のレシピを再現した富山大学の学食「ヘルンランチ」を広く紹介したいという同大学の発案を受け、商品化への橋渡しを行ったものです。「小泉八雲スープカレー」と「ガンボライス」の2商品が6月11日から富山県内で発売されました。



小泉八雲スープカレー

● 北海道と連携協定を締結

7月26日、北海道における産業振興に向けた取り組みを共同で展開し、北海道経済の活性化を図るため、北海道と連携協定を締結しました。

協定締結を記念して9月12日～24日に金沢市内で、北海道、小樽市、小樽物産協会にご後援いただき、香林坊大和と共催で北海道物産の販売支援を目的とした「小樽物産展」を開催しました。

今後も道内企業等の海外販路拡大や海外進出支援、北海道国際ビジネスセンターの活動支援などを行います。



調印式の様子



本店建物が国の有形文化財に登録

7月19日、北陸銀行本店が国の登録有形文化財に登録される運びとなりました。

戦後復興期から新たに飛躍を遂げてゆく時代に誕生し、郷土の発展とともに歴史を刻んできたことを象徴する建物として、重厚ながらも軽快な外観を留めていることが評価されました。



登録有形
文化財

富山市
堤町通りにある
北陸銀行本店

日本M&Aセンターの 「バンクオブザイヤー」を受賞

M&A(企業の合併・買収)で業務提携関係にある株式会社日本M&Aセンターの第1回「バンクオブザイヤー」を受賞しました。今回の受賞は、平成24年度に同社との協働実績が最も多かった提携金融機関として表彰されたものです。そのほか、最も多くの新規協働受託があった銀行に贈られる「情報開発大賞」も同時に受賞しました。

YKK出張所、函館東出張所が支店に昇格

10月21日、YKK出張所と函館東出張所が支店に昇格しました。支店昇格にともない、フルバンキング機能を備えつつ、個人や家業の皆さまへ充実したサービスを提供していきます。

これまで以上に、地域の皆さまのニーズにきめ細やかに対応し、「もっと親しまれ、頼りにされる銀行」を目指します。

貸出金の状況

業績ハイライト

グループの概要

地域とのかかわり

地域とともに

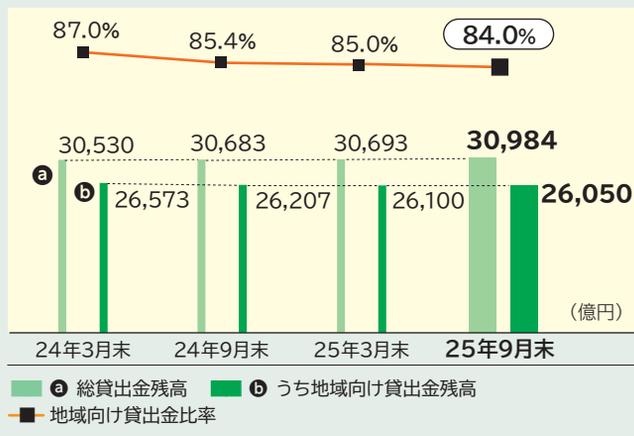
財務諸表

株式のご案内

経営理念等

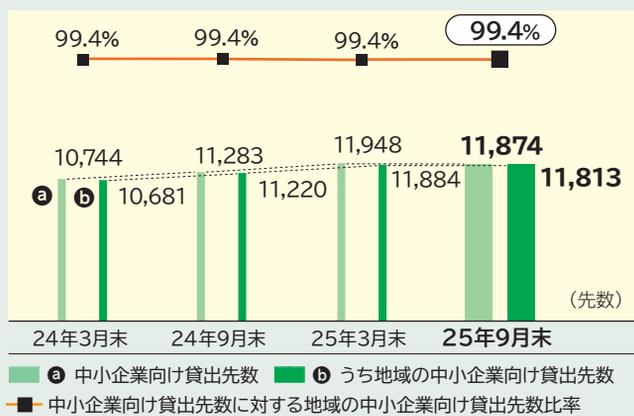
■ 地域向け貸出金の状況

地域向け貸出金は、2兆6,050億円となりました。総貸出金のうち地域向け貸出金比率は84.0%となっております。



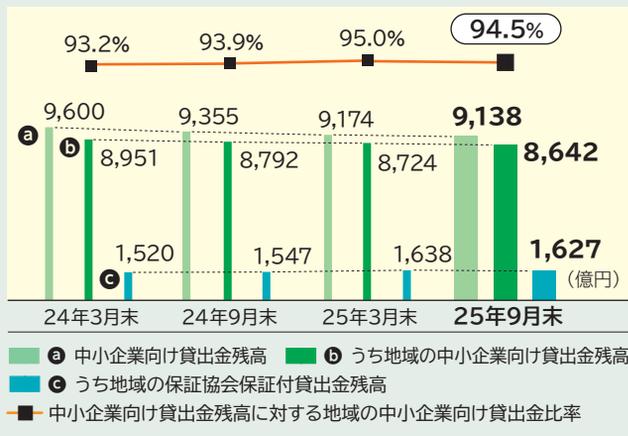
■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は11,874先で、うち地域の中小企業向け貸出先数は11,813先と99.4%を占めております。

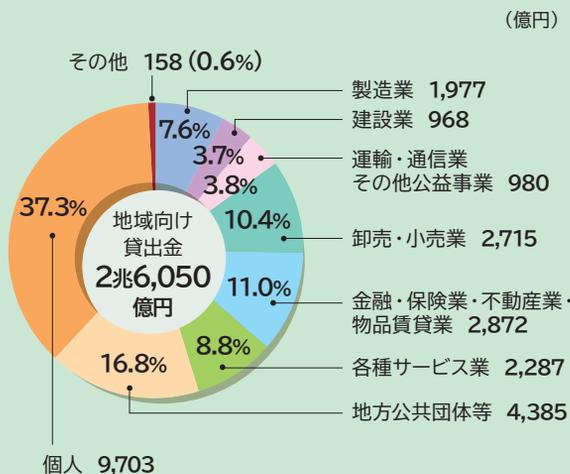


■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は9,138億円で、うち地域の中小企業向け貸出金は8,642億円と94.5%を占めております。



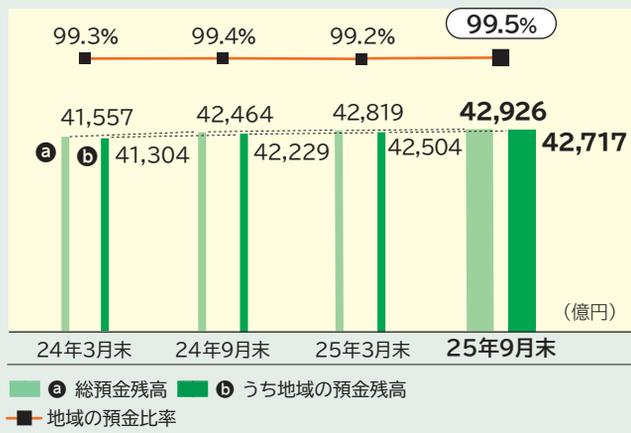
■ 地域の業種別貸出残高 (平成25年9月末)



預金の状況

■ 地域の預金(含む譲渡性預金)の状況

総預金は4兆2,926億円、うち4兆2,717億円が地域の預金で、総預金の99.5%を占めております。



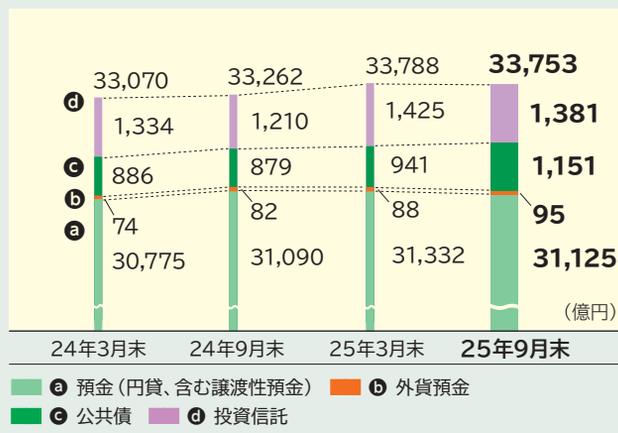
■ 決済サービスのご利用状況

年金振込は28万8千先、給与振込は54万3千先、公共料金の自動振替は97万4千先と多くのお客さまに家計のメイン口座としてご利用いただいております。



■ 個人預かり資産の状況

25年9月末の個人預かり資産残高は、3兆3,753億円、うち預金(円貨、含む譲渡性預金)を除いた投資型金融商品の残高は、2,628億円となりました。



★ ATM宝くじサービス \ 商品充実 /

北海道銀行では、平成14年9月からATMによる「数字選択式宝くじ(ナンバーズ3、ナンバーズ4、ミニロト、ロト6)」の取り扱いをしています。

10月2日からは、ATM宝くじサービスにおいて数字選択式宝くじ「ロト7」の取り扱いを北海道地区の地方銀行として初めて開始しました。

過去、高額当せんが出ていることもあり、大変好評をいただいております。



お取引先の成長を支援する取り組み

海外進出支援

●「タイビジネスセミナー」を開催

6月27日、タイ国大使館商務参事官事務所、カシコン銀行(タイ)および株式会社道銀地域総合研究所との共催で「タイビジネスセミナー」を開催し、タイビジネスに関心をお持ちのお取引先より105名が参加されました。

タイ進出の可能性や成功のポイントなどについて話を聞いた参加者からは「進出を前向きに検討したい」といった声が多数聞かれ、タイビジネスへの関心の高まりがうかがえました。



セミナーの様子

●「ロシアビジネス勉強会」を開催

ロシアNIS貿易会より講師をお招きし、極東ロシアビジネスに関心をお持ちのお取引先に対し、ロシアビジネスの情報提供を目的とした勉強会を開催しました。講話後のディスカッションでは、北海道銀行の国際部、アグリビジネス推進室の実務担当者も交え、活発な意見交換が繰り広げられ、ロシアビジネスに対する関心の深さがうかがわれました。



ディスカッションの様子

開催回数：2回
6月26日 札幌
8月23日 旭川

参加者数 … 49名

人財育成

●「道銀ビジネスアカデミー」の新設

お取引先に対し、よりニーズに沿った提案や経営改善のアドバイスなどができるように、行員一人ひとりが、補強すべき業務スキルを考え、そのスキルを習得することを目的として短期集中型の業務研修を新設しました。7月に12回行われた研修には延べ146名の行員が参加しました。

今後もお取引先に貢献できるよう、スキルアップに努めます。



販路拡大

●「北海道の『食』特別商談会」を開催

水産資源を中心とした、地域特性を生かした付加価値の高い加工食品の販路拡大を支援するため、スーパーや百貨店などのバイヤーを招いて商談会を開催しました。

北海道産の商品に対する関心は高く、今後も商談会の開催を通じて地域の産業振興に努めます。



開催回数：3回
4月23日 釧路
4月24日 根室
8月22日 函館

バイヤー…延べ18名
出展企業数…39社
商談件数…153件

「北海道の『食』特別商談会 in 函館」の様子

地域の活性化に関する取り組み

● 道内四高専「モノづくり企業体験交流会」を開催

道内四高専との連携協力協定に基づき、8月26日～28日の2泊3日の日程で実施し、参加者数は過去最高となる27名となりました。

道内の優秀な高専学生に対して、高い技術力を有する北海道のモノづくり企業の現場に接する機会や、経営者の生の声に直接触れる機会を提供する目的で開催され、学生達からは企業へ活弁な質問が行われました。

道内の企業への理解を深めることで学生にとっては就職機会の拡大、企業にとっては優秀な人材の確保へつなげていくことを目指しています。



今回ご協力いただいたお取引先

トヨタ自動車北海道株式会社 様
株式会社松本鐵工所 様
株式会社ダイナックス 様

シンセメック株式会社 様
SOC株式会社 様
小樽商科大学 様

TOPICS 北海道銀行

北海道銀行フォルティウスが女子カーリング 日本代表に選出

9月17日、女子カーリングチーム「北海道銀行フォルティウス」がカーリングソチオリンピック世界最終予選日本代表決定戦で優勝を果たし、日本代表に選出されました。



～北海道日本ハムファイターズ公式戦～ 千葉興業銀行とのコラボレーション企画 「北海道銀行スペシャルデー」を開催

グランドパートナーとして応援している北海道日本ハムファイターズの公式戦ゲームスポンサーとして「北海道銀行スペシャルデー」を開催しました。

今年は、千葉ロッテマリーンズのオフィシャルスポンサーである千葉興業銀行とのコラボレーション企画を実施し、それぞれの本拠地開催試合で相手チーム本拠地の観光・物産PRを行いました。

東邦銀行・青森銀行との ATM相互無料開放の実施

東北・北海道地区交流促進地銀連携事業の一環として、5月20日より東邦銀行、10月7日より青森銀行とATMの相互無料開放を実施しました。今後も、平成28年春の北海道新幹線開業を見据え、東北・北海道地区のお客さまの利便性向上による一層の交流促進を目指していきます。

中間貸借対照表 (平成25年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	3,884	流動負債	164
現金及び預金	3,662	未払配当金	84
前払費用	3	未払費用	61
未収収益	53	未払法人税等	7
未収還付法人税等	165	未払消費税等	5
固定資産	246,032	預り金	4
有形固定資産	1	その他	0
無形固定資産	0	固定負債	18,091
投資その他の資産	246,030	社債	18,000
関係会社株式	227,870	役員退職慰労引当金	91
関係会社長期貸付金	18,000	負債の部合計	18,255
その他	160	純資産の部	
		資本金	70,895
		資本剰余金	137,092
		資本準備金	82,034
		その他資本剰余金	55,057
		利益剰余金	24,966
		その他利益剰余金	24,966
		繰越利益剰余金	24,966
		自己株式	△ 1,484
		株主資本合計	231,469
		新株予約権	191
		純資産の部合計	231,661
資産の部合計	249,917	負債及び純資産の部合計	249,917

中間損益計算書 (平成25年4月1日～平成25年9月30日) (単位:百万円)

営業収益	1,107
関係会社受取配当金	808
関係会社受入手数料	299
営業費用	271
販売費及び一般管理費	271
営業利益	836
営業外収益	141
関係会社貸付金利息	123
その他の営業外収益	17
営業外費用	169
社債利息	123
事務委託費	45
経常利益	808
税引前中間純利益	808
法人税、住民税及び事業税	0
法人税等合計	0
中間純利益	807

中間株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本								新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計		
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	70,895	82,034	55,061	137,096	29,988	29,988	△ 1,512	236,467	107	236,575
当中間期変動額										
剰余金の配当	-	-	-	-	△ 5,828	△ 5,828	-	△ 5,828	-	△ 5,828
中間純利益	-	-	-	-	807	807	-	807	-	807
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	△ 7	△ 7	-	△ 7
自己株式の処分	-	-	△ 4	△ 4	-	-	35	30	-	30
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	84	84
当中間期変動額合計	-	-	△ 4	△ 4	△ 5,021	△ 5,021	27	△ 4,998	84	△ 4,913
当中間期末残高	70,895	82,034	55,057	137,092	24,966	24,966	△ 1,484	231,469	191	231,661

中間連結貸借対照表 (平成25年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	665,525	預金	9,770,367
コールローン及び買入手形	66,729	譲渡性預金	299,533
買入金銭債権	81,305	コールマネー及び売渡手形	18,083
特定取引資産	5,568	特定取引負債	1,594
金銭の信託	7,658	借入金	164,870
有価証券	2,552,901	外国為替	162
貸出金	7,356,416	社債	33,000
外国為替	11,246	その他負債	136,468
その他資産	102,302	退職給付引当金	10,013
有形固定資産	103,307	役員退職慰労引当金	324
無形固定資産	35,298	偶発損失引当金	2,654
繰延税金資産	19,099	睡眠預金払戻損失引当金	1,324
支払承諾見返	85,934	再評価に係る繰延税金負債	6,873
貸倒引当金	△ 67,980	支払承諾	85,934
		負債の部合計	10,531,206
		純資産の部	
		資本金	70,895
		資本剰余金	148,193
		利益剰余金	208,771
		自己株式	△ 1,519
		株主資本合計	426,340
		その他有価証券評価差額金	58,193
		繰延ハッジ損益	58
		土地再評価差額金	8,184
		その他の包括利益累計額合計	66,435
		新株予約権	191
		少数株主持分	1,138
		純資産の部合計	494,105
資産の部合計	11,025,312	負債及び純資産の部合計	11,025,312

中間連結損益計算書

(平成25年4月1日～
平成25年9月30日)

(単位:百万円)

経常収益	95,289
資金運用収益	66,128
(うち貸出金利息)	(53,666)
(うち有価証券利息配当金)	(11,424)
役員取引等収益	18,383
特定取引収益	277
その他業務収益	7,562
その他経常収益	2,937
経常費用	71,707
資金調達費用	4,704
(うち預金利息)	(2,785)
役員取引等費用	7,174
その他業務費用	4,381
営業経費	53,438
その他経常費用	2,008
経常利益	23,582
特別利益	5
特別損失	2,151
税金等調整前中間純利益	21,436
法人税、住民税及び事業税	4,972
法人税等調整額	4,117
法人税等合計	9,090
少数株主損益調整前中間純利益	12,346
少数株主利益	41
中間純利益	12,304

中間連結株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ハッジ 損益	土地再評価 差額金	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	70,895	148,197	201,138	△ 1,547	418,684	52,630	△ 301	9,340	61,669	107	1,089	481,550
当中間期変動額												
剰余金の配当	-	-	△ 5,828	-	△ 5,828	-	-	-	-	-	-	△ 5,828
中間純利益	-	-	12,304	-	12,304	-	-	-	-	-	-	12,304
自己株式の取得	-	-	-	△ 7	△ 7	-	-	-	-	-	-	△ 7
自己株式の処分	-	△ 4	-	35	30	-	-	-	-	-	-	30
土地再評価差額金の取崩	-	-	1,156	-	1,156	-	-	-	-	-	-	1,156
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	5,562	359	△ 1,156	4,766	84	49	4,899
当中間期変動額合計	-	△ 4	7,632	27	7,655	5,562	359	△ 1,156	4,766	84	49	12,555
当中間期末残高	70,895	148,193	208,771	△ 1,519	426,340	58,193	58	8,184	66,435	191	1,138	494,105

中間貸借対照表 (平成25年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	482,134	預金	5,559,858
コールローン	26,729	譲渡性預金	236,951
買入金銭債権	81,304	コールマネー	13,685
特定取引資産	3,520	特定取引負債	1,594
有価証券	1,296,132	借入金	101,745
貸出金	4,271,244	外国為替	105
外国為替	7,004	その他負債	53,163
その他資産	25,738	退職給付引当金	105
有形固定資産	78,584	役員退職慰労引当金	89
無形固定資産	6,480	偶発損失引当金	1,962
繰延税金資産	7,594	睡眠預金払戻損失引当金	871
支払承諾見返	42,022	再評価に係る繰延税金負債	6,873
貸倒引当金	△ 29,219	支払承諾	42,022
		負債の部合計	6,019,030
		純資産の部	
		資本金	140,409
		資本剰余金	14,998
		資本準備金	14,998
		利益剰余金	73,072
		利益準備金	8,056
		その他利益剰余金	65,015
		繰越利益剰余金	65,015
		株主資本合計	228,481
		その他有価証券評価差額金	43,517
		繰延ヘッジ損益	58
		土地再評価差額金	8,184
		評価・換算差額等合計	51,759
		純資産の部合計	280,240
資産の部合計	6,299,271	負債及び純資産の部合計	6,299,271

中間損益計算書 (平成25年4月1日～平成25年9月30日) (単位:百万円)

経常収益	48,574
資金運用収益	36,464
(うち貸出金利息)	(29,304)
(うち有価証券利息配当金)	(6,308)
役員取引等収益	8,101
特定取引収益	127
その他業務収益	1,492
その他経常収益	2,388
経常費用	34,667
資金調達費用	2,813
(うち預金利息)	(1,596)
役員取引等費用	3,577
営業経費	27,611
その他経常費用	665
経常利益	13,906
特別利益	5
特別損失	2,065
税引前中間純利益	11,846
法人税・住民税及び事業税	872
法人税等調整額	3,690
法人税等合計	4,563
中間純利益	7,283

中間株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等				純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本 準備金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金							利益剰余金 合計
当期首残高	140,409	14,998	14,998	8,056	56,575	64,632	220,040	39,557	△ 301	9,340	48,596	268,637
当中間期変動額												
中間純利益	-	-	-	-	7,283	7,283	7,283	-	-	-	-	7,283
土地再評価差額金の取崩	-	-	-	-	1,156	1,156	1,156	-	-	-	-	1,156
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	3,960	359	△ 1,156	3,163	3,163
当中間期変動額合計	-	-	-	-	8,440	8,440	8,440	3,960	359	△ 1,156	3,163	11,603
当中間期末残高	140,409	14,998	14,998	8,056	65,015	73,072	228,481	43,517	58	8,184	51,759	280,240

中間貸借対照表 (平成25年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	182,404	預金	4,222,670
コールローン	40,000	譲渡性預金	69,982
商品有価証券	2,047	コールマネー	4,398
金銭の信託	7,658	借入金	79,890
有価証券	1,244,310	外国為替	56
貸出金	3,098,402	社債	15,000
外国為替	4,241	その他負債	57,910
その他資産	40,208	退職給付引当金	9,505
有形固定資産	29,743	役員退職慰労引当金	124
無形固定資産	5,653	偶発損失引当金	692
繰延税金資産	12,763	睡眠預金払戻損失引当金	453
支払承諾見返	30,988	支払承諾	30,988
貸倒引当金	△ 25,967		
		負債の部合計	4,491,672
		純資産の部	
		資本金	93,524
		資本剰余金	16,795
		資本準備金	16,795
		利益剰余金	51,607
		利益準備金	6,044
		その他利益剰余金	45,562
		繰越利益剰余金	45,562
		株主資本合計	161,926
		その他有価証券評価差額金	18,855
		評価・換算差額等合計	18,855
		純資産の部合計	180,782
資産の部合計	4,672,454	負債及び純資産の部合計	4,672,454

中間損益計算書 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(単位:百万円)

経常収益	40,286
資金運用収益	29,715
(うち貸出金利息)	(24,323)
(うち有価証券利息配当金)	(5,206)
役員取引等収益	8,375
その他業務収益	572
その他経常収益	1,622
経常費用	30,796
資金調達費用	1,880
(うち預金利息)	(1,191)
役員取引等費用	4,105
その他業務費用	26
営業経費	22,910
その他経常費用	1,873
経常利益	9,490
特別利益	3
特別損失	77
税引前中間純利益	9,416
法人税、住民税及び事業税	3,604
法人税等調整額	399
法人税等合計	4,004
中間純利益	5,412

業績ハイライト

グループの概要

地域とのかかわり

地域とともに

財務諸表

株式のご案内

経営理念等

中間株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金				利益剰余金合計	
当期首残高	93,524	16,795	16,795	5,883	41,117	47,000	157,320	17,356	17,356	174,676
当中間期変動額										
剰余金の配当	-	-	-	161	△ 966	△ 805	△ 805	-	-	△ 805
中間純利益	-	-	-	-	5,412	5,412	5,412	-	-	5,412
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	1,498	1,498	1,498
当中間期変動額合計	-	-	-	161	4,445	4,606	4,606	1,498	1,498	6,105
当中間期末残高	93,524	16,795	16,795	6,044	45,562	51,607	161,926	18,855	18,855	180,782

決算期	毎年3月31日	
定時株主総会の基準日	毎年3月31日	
定時株主総会	毎年6月	
剰余金の配当の基準日	3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日	
1単元の株式数	1,000株	
証券コード	8377	
上場証券取引所(普通株式)	東京証券取引所(第一部)および札幌証券取引所	
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。(http://www.hokuhoku-fg.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
株式事務取扱場所	株主名簿管理人・特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
	お問い合わせ先・郵便物の送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
		<small>みずほ</small> フリーダイヤル 0120-288-324 受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

■株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

① 普通株式をご所有の株主さま

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取・買増請求等	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に記録されている株式・・・口座を開設されている証券会社 特別口座に記録されている株式・・・みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 および みずほ銀行 の本店および全国各支店 (みずほ証券 の本支店でもお取次ぎしております。)
支払明細の発行	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店

② 優先株式をご所有の株主さま

各種ご請求・お手続き	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
------------	-------------------------------

◎特別口座について

「特別口座」とは、2009年1月の株券電子化実施までに証券会社等を通じて証券保管振替機構に預託されなかった株式について、株主さまの権利を確保するため、特別口座の口座管理機関(みずほ信託銀行)に株主名簿上の株主名義で開設された口座です。

特別口座にて管理されている株式を、単元未満株式の買取・買増以外の方法で売買される場合には、証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

お手続きの詳細は、上記のみずほ信託銀行証券代行部(フリーダイヤル)にお問い合わせください。

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄 社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実 公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造 創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

ホームページのご案内

ほくほくフィナンシャルグループ

ほくほくフィナンシャルグループの概要、経営戦略、財務データ、IR情報など最新の情報から過去のデータまでご覧いただけます。

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>



北陸銀行

取扱商品・サービスやキャンペーンのお知らせから店舗やATM(コンビニATMを含む)の所在地・ご利用時間まで、さまざまな情報を詳細かつタイムリーに掲載しています。

<http://www.hokugin.co.jp/>



北海道銀行

各種商品・サービス、セミナーのご案内、トピックスなどをタイムリーに掲載しています。また、定期預金、各種ローンの簡単なシミュレーションもご利用いただけます。

<http://www.hokkaidobank.co.jp/>



コーポレートマーク

垂直に伸びるゴールドのグラデーションは企業の成長性と収益性を表し、緩やかな弧を描くラインは広域地銀としてのネットワークを表現しています。また、落ち着いたブルーの正方形は、組織の揺るぎない安定性をイメージしており、その正方形の中に垂直のラインとカーブのラインを配置することによって、「ほくほく」の頭文字である「h」を表しています。



金融ADR制度への取り組み

当社グループの北陸銀行、北海道銀行では、お客さまからのご意見・苦情等につきまして、迅速かつ適切な対応を行うべく、指定紛争解決機関である全国銀行協会と契約を締結しています。

指定紛争解決機関は、中立・公正な立場で、解決のための取り組みを行います。

北陸銀行・北海道銀行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関

一般社団法人全国銀行協会

連絡先：全国銀行協会相談室

電話番号：0570-017109 または 03-5252-3772

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7331

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行 総合企画部広報グループ

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7111

<http://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行 経営企画部広報CSR室

〒060-8676

札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel: 011-233-1005

<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

本冊子は、読みやすさや見やすさに配慮・工夫された書体
(ユニバーサルデザインフォント)を採用しております。

ペジタブルインキを使用し、
環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。

